

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 なとり 上場取引所 東  
 コード番号 2922 URL <https://www.natori.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 名取 三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画部長兼経理部長 (氏名) 安宅 茂 TEL 03-5390-8111  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,801	1.9	425	47.3	419	48.3	290	47.7
2022年3月期第1四半期	11,007		808		811		555	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 266百万円 ( 55.0%) 2022年3月期第1四半期 593百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	23.08	
2022年3月期第1四半期	44.12	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,515	23,534	58.1
2022年3月期	41,388	23,406	56.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 23,534百万円 2022年3月期 23,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		11.00		11.00	22.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		11.00		11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,700	1.3	660	71.0	680	70.5	460	70.5	36.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	15,032,209 株	2022年3月期	15,032,209 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	2,449,556 株	2022年3月期	2,449,556 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	12,582,653 株	2022年3月期1Q	12,582,690 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において当社グループは、売上面では節約志向に対応した期間限定品や、おやつ需要の新製品導入と市場定着を図るべく、きめ細かい販売促進策等に引き続き取り組みました。しかしながら、巣ごもり需要の一服及び消費者の生活防衛意識の高まりによる買い控えや、原材料のコスト上昇対策として内容量を変更した製品の売上が一部落ち込んだことなどにより、わずかに減収となりました。利益面では更なる原価低減の取り組みや、前述の一部製品の内容量変更等の諸施策を講じましたが、急激な円安などによる原材料価格の値上がり影響により、大きく減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高108億1百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益4億25百万円（同47.3%減）、経常利益4億19百万円（同48.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億90百万円（同47.7%減）となりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	11,007	100.0	10,801	100.0	△206	△1.9
売上総利益	2,825	25.7	2,433	22.5	△391	△13.9
販売費及び一般管理費	2,017	18.4	2,007	18.6	△9	△0.5
営業利益	808	7.3	425	3.9	△382	△47.3
経常利益	811	7.4	419	3.9	△391	△48.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	555	5.0	290	2.7	△264	△47.7

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記のとおりであります。

区 分		前第1四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
食品製造販売事業	水産加工製品	4,483	40.7	4,503	41.7	19	0.4
	畜肉加工製品	2,075	18.9	1,975	18.3	△100	△4.8
	酪農加工製品	2,097	19.1	1,945	18.0	△152	△7.3
	農産加工製品	505	4.6	436	4.0	△69	△13.7
	素材菓子製品	473	4.3	527	4.9	53	11.3
	チルド製品	388	3.5	389	3.6	1	0.3
	その他製品	903	8.2	920	8.5	17	1.9
	計	10,927	99.3	10,696	99.0	△230	△2.1
	不動産賃貸事業計	79	0.7	104	1.0	24	30.6
	売上高合計	11,007	100.0	10,801	100.0	△206	△1.9

## (食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、期間限定でかつやとコラボしたカツ丼味の揚物製品や、おやつ需要にも対応した「いかそうめん」などが売上を伸ばし、微増収となりました。畜肉加工製品は、新製品「おつまみ牛たん」や、「18本入りペンシルカルパス」などが好調に推移しましたが、前年度に実施した販売促進キャンペーンの効果が大きかったドライソーセージ製品の売上減などで減収となりました。酪農加工製品は、新製品「チーズ鱈。ピスタチオ味」などの期間限定品が好調に推移しましたが、内容量を変更したチータラ。製品などが売上を落とし減収となりました。農産加工製品は、食塩無添加のナッツ製品などの売上が減少し、減収となりました。素材菓子製品は、カリカリ梅などの梅製品、いかチップ・げそチップの2種類を楽しめる新製品「おやつするめ」などが売上を伸ばし、増収となりました。チルド製品は、新製品「まるやか チータラ。ピスタチオ味」などのチルド チーズ鱈。製品が好調に推移し、微増収となりました。その他製品は、うずらの味付たまごなどのレトルト製品が売上を伸ばし、増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は106億96百万円(同2.1%減)、営業利益は3億54百万円(同52.8%減)となりました。

## (不動産賃貸事業)

売上高は1億4百万円(同30.6%増)、営業利益は71百万円(同26.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、405億15百万円(前連結会計年度末比8億73百万円減)となりました。

資産の部では、夏場の繁忙期に向け原材料等を5億75百万円積み増しましたが、季節的要因の売上減少で受取手形及び売掛金が8億13百万円減少したこと等により、総資産は減少しました。

負債の部では、在庫の積み増しにより支払手形及び買掛金が2億96百万円増加しておりますが、返金負債が売上減少で2億46百万円減少したことや、リース債務は返済が進み2億25百万円減少、法人税等の支払いで未払法人税等は1億72百万円減少等により、負債合計は169億80百万円(同10億2百万円減)、純資産の部では、四半期純利益の計上や配当金の支払いなどで利益剰余金が1億52百万円増加したこと等により、純資産合計は235億34百万円(同1億28百万円増)となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比1.5ポイント増加の58.1%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,880,134	4,522,934
受取手形及び売掛金	8,267,727	7,454,706
商品及び製品	1,496,743	1,457,087
仕掛品	897,829	1,003,819
原材料及び貯蔵品	3,612,027	4,187,982
その他	267,175	221,202
貸倒引当金	△99	△99
流動資産合計	19,421,539	18,847,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,691,842	9,569,721
土地	6,913,778	6,913,778
その他(純額)	2,729,183	2,488,884
有形固定資産合計	19,334,804	18,972,383
無形固定資産	349,235	367,624
投資その他の資産	2,283,205	2,327,465
固定資産合計	21,967,244	21,667,473
資産合計	41,388,784	40,515,108

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,364,880	4,661,582
短期借入金	2,229,000	2,229,000
1年内返済予定の長期借入金	584,120	576,620
未払法人税等	254,425	81,863
賞与引当金	355,709	319,291
役員賞与引当金	39,000	9,750
その他	4,483,742	3,700,185
流動負債合計	12,310,878	11,578,293
固定負債		
長期借入金	2,599,440	2,527,410
役員退職慰労引当金	646,805	642,222
退職給付に係る負債	823,866	827,967
資産除去債務	5,825	5,825
その他	1,595,945	1,399,018
固定負債合計	5,671,882	5,402,443
負債合計	17,982,761	16,980,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	20,775,565	20,927,616
自己株式	△2,096,265	△2,096,265
株主資本合計	22,945,348	23,097,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	365,377	324,281
為替換算調整勘定	104,385	120,129
退職給付に係る調整累計額	△9,087	△7,437
その他の包括利益累計額合計	460,675	436,972
純資産合計	23,406,023	23,534,371
負債純資産合計	41,388,784	40,515,108

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	11,007,598	10,801,365
売上原価	8,182,330	8,367,544
売上総利益	2,825,268	2,433,821
販売費及び一般管理費	2,017,126	2,007,957
営業利益	808,142	425,864
営業外収益		
受取配当金	15,568	18,241
受取賃貸料	8,096	6,534
その他	9,969	8,195
営業外収益合計	33,634	32,970
営業外費用		
支払利息	10,148	10,052
賃貸費用	6,717	6,372
持分法による投資損失	13,377	22,659
営業外費用合計	30,242	39,084
経常利益	811,533	419,750
特別損失		
固定資産除却損	76	-
出資金評価損	1,000	-
特別損失合計	1,076	-
税金等調整前四半期純利益	810,456	419,750
法人税等	255,369	129,290
四半期純利益	555,087	290,459
親会社株主に帰属する四半期純利益	555,087	290,459



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	555,087	290,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,978	△41,096
退職給付に係る調整額	2,466	1,649
持分法適用会社に対する持分相当額	13,897	15,743
その他の包括利益合計	38,342	△23,702
四半期包括利益	593,430	266,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	593,430	266,757
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。